

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
51311	農業集落排水処理施設維持管理事業	公営企業局	下水道管理課	2
51311	管渠改良事業	公営企業局	下水道管理課	3
51311	他事業関連改築事業	公営企業局	下水道管理課	4
51311	既設管維持管理事業	公営企業局	下水道管理課	5
51311	マンホールポンプ等管理事業	公営企業局	下水道管理課	6
51311	下水道台帳整備事業	公営企業局	下水道管理課	7
51321	普及啓発事業	公営企業局	下水道管理課	8
51321	宅内樹設置資金貸付事業	公営企業局	下水道管理課	9
51321	私道管渠整備事業	公営企業局	下水道管理課	10
51321	公共樹設置事業	公営企業局	下水道管理課	11

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6489
------	-------	-----	--------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	農業集落排水処理施設維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51311							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の管理・更新	根拠法令	松山市農業集落排水処理施設管理条例				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化						
目的・背景	農業集落における、農業用の用排水の水質汚濁を防止し、農村地域の健全な水循環、水環境を形成するため、農業集落排水処理施設の適切な維持管理を行うことを目的とする。						
対象・内容	大浦地区(農業集落排水処理施設)の管渠等の維持管理を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	農業集落排水事業費用	項	営業費用	目	管渠費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	—		0
予算 (千円)	事業費計	400	400	400					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400	400					
決算 (千円)	事業費計	0	0			主な 取組 内容 【R4】	農業集落排水処理施設の維持管理を行い、 住民の快適な生活環境を維持する。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	0						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項	修繕工事はなかった。		
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	管理する管渠延長		目標	—	—	1,945	1,945	—	
			実績	1,945	1,945				
	現状維持	m	達成率	—	—				
成果指標	管理施設に起因する 事故件数		目標	—	—	0	0	—	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	—	—				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予防保全対策として事業を実施し、適切な維持管理を行うことができた。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	農業集落排水処理施設に起因する事故等で、市民生活へ影響を及ぼすことがないよう、引き続き事業を実施する。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	計画・工事担当	連絡先	948-6956
------	-------	-----	--------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	管渠改良事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51311							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		○	○	○	—	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の管理・更新	根拠法令	第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化						
目的・背景	昭和60年代から平成初期に集中的な整備を行った管渠が将来、一斉に更新時期を迎えるため適切な管理が求められている。また、地震で下水道機能が停止した場合、汚水の流出やトイレの使用不可など、市民生活・社会活動に甚大な影響を及ぼす。そこで、今後とも、適切に下水道施設を管理することで施設の機能維持や事故の未然防止を図り、将来にわたり下水道が安全で安心して利用できるようにする。また、管渠の耐震化を進め、下水道管の破損による交通障害の発生なども防止する。						
対象・内容	老朽化していく下水道管渠等に対し管内調査を実施し、損傷度の判定を行い改築更新の工事を実施する。また、重要な路線のうち、平成9年度以前の耐震基準で整備された管渠について調査診断を行い、結果に応じた耐震化の工事を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	営業費用 下水道建設改良費	目	管渠費 管渠改良費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	工事請負費		382,417
予算 (千円)	事業費計	979,486	767,043	784,527			公共下水道管渠長寿命化対策実 施設計業務に伴う委託料ほか		56,020
	国費・県費	328,814	124,945	273,641					
	市債	521,000	424,200	321,900					
	その他	13,881							
	一般財源	115,791	217,898	188,986					
決算 (千円)	事業費計	626,290	439,343			主な 取組 内容 【R4】	下水道管の老朽化対策としての長寿命化 工事や地震対策としての耐震化工事などを 行った。		
	国費・県費	279,847	77,939						
	市債	249,700	238,300						
	その他	12,195	179						
	一般財源	84,548	122,925						
人役	正規職員	3.7	3.7	3.7		特記 事項	383,660千円は翌年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	3.7	3.7	3.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	長寿命化済延長		目標	36.7	39.0	41.3	48.2	ストックマネジメント計画等に基づき概ね目標通りに改築更新工事が実施できた。	
			実績	35.7	38.4				
	累計で増	km	達成率	97.3%	98.5%				
成果指標	耐震化済延長		目標	54.3	74.8	75.3	76.8	下水道総合地震対策計画等に基づき概ね目標通りに耐震化工事が実施できた。	
			実績	65.9	74.6				
	累計で増	km	達成率	121.4%	99.7%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	計画に基づき工事を実施した結果、下水道管の老朽化対策及び地震対策についての目標値を概ね達成することができたため。							
課題	下水道管の改築更新、耐震化ともに多くの費用と時間がかかる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	将来にわたり、下水道施設の機能を維持するため、各種計画(下水道総合地震対策計画、ストックマネジメント計画等)に基づき、事業を実施しているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6489
------	-------	-----	--------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	他事業関連改築事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51311							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の管理・更新	根拠法令	下水道法第1条、第3条第1項 第4次松山市下水道整備基本構想				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化						
目的・背景	快適で安全、安心な暮らしを実現し、市民生活や都市の社会経済活動を支えるとともに、健全な水循環、水環境を形成するため、マンホール鉄蓋等の適切な維持管理を行うことを目的とする。						
対象・内容	国、県、市が道路改良事業等を行う際、老朽化したマンホール鉄蓋を同時に交換する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	営業費用 下水道建設改良費	目	管渠費 管渠改良費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	工事請負費		44,836
予算 (千円)	事業費計	234,200	275,668	330,997			修繕費		38,901
	国費・県費						JR松山駅周辺整備事業に伴う減 耗費相当分の負担金		29,532
	市債								
	その他	41,159	46,000	88,264					
	一般財源	193,041	229,668	242,733					
決算 (千円)	事業費計	154,290	114,654			主な 取組 内容 【R4】	国・県・市の道路事業に伴う下水道マンホー ル蓋取替及び高さ調整を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	29,814	30,766						
	一般財源	124,476	83,888						
人役	正規職員	3.4	3.4	3.4		特記 事項	予算額のうち90,547千円は翌年度へ繰 り越し		
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	3.5	3.5	3.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	鉄蓋交換枚数		目標	—	—	500	500	—	
			実績	531	540				
	単年で増	枚	達成率	—	—				
成果指標	老朽化した鉄蓋に起因する事故件数		目標	—	—	0	0	—	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	—	—				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	時機を逸することなく鉄蓋を交換し、適切な維持管理を行うことができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	老朽化した鉄蓋が原因で、市民生活へ影響を及ぼすことがないよう、引き続き事業を実施する。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6554
------	-------	-----	--------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	既設管維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51311							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の管理・更新	根拠法令	下水道法第1条、第3条第1項				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化		第4次松山市下水道整備基本構想				
目的・背景	快適で安全、安心な暮らしを実現し、市民生活や都市の社会経済活動を支えるとともに、健全な水循環、水環境を形成するため、下水道管渠など、下水道施設の適切な維持管理を行うことを目的とする。						
対象・内容	下水道施設の点検、調査を行い、危険な箇所や破損施設の修繕、管渠の清掃を行う。 下水道管渠の詰まりが多い箇所については、定期的に管内洗浄を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	営業費用 下水道建設改良費	目	管渠費 管渠改良費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	下水道管渠施設点検・調査業 務に伴う委託料ほか		52,162
予算 (千円)	事業費計	80,821	144,232	191,483			修繕費		41,540
	国費・県費	30	7,674	35,000					
	市債								
	その他								
	一般財源	80,791	136,558	156,483					
決算 (千円)	事業費計	65,447	102,594			主な 取組 内容 【R4】	管渠や枺の補修を行った。		
	国費・県費	23	11,328						
	市債								
	その他								
	一般財源	65,424	91,266						
人役	正規職員	3.3	3.3	3.4		特記 事項	予算額のうち39,950千円は翌年度へ繰 り越し		
	その他	1.6	1.6	1.6					
	合計	4.9	4.9	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	定期点検・清掃箇所数		目標	—	—	47	47	—	
			実績	40	38				
	単年で増	件	達成率	—	—				
成果指標	詰まり件数		目標	—	—	0	0	—	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	—	—				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予防保全対策として事業を実施し、適切な維持管理を行うことができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	下水道管渠の詰まりが原因で、市民生活へ影響を及ぼすことがないよう、引き続き事業を実施する。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6489
------	-------	-----	--------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	マンホールポンプ等管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
51311							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の管理・更新	根拠法令	下水道法第1条、第3条第1項				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化		松山市下水道整備基本構想				
目的・背景	快適で安全、安心な暮らしを実現し、市民生活や都市の社会経済活動を支えるとともに、健全な水循環、水環境を形成するため、マンホールポンプ等の適切な維持管理を行うことを目的とする。						
対象・内容	市内に点在するマンホールポンプ32箇所、濾過スクリーン3箇所及びゲート2箇所の維持管理業務を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出	項	営業費用 下水道建設改良費	目	管渠費 管渠改良費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	マンホールポンプ等点検管理 に伴う委託料ほか		5,687
予算 (千円)	事業費計	25,960	26,215	34,903			修繕費		5,628
	国費・県費						光熱水費		
	市債								
	その他								
	一般財源	25,960	26,215	34,903				3,502	
決算 (千円)	事業費計	20,167	16,455			主な 取組 内容 【R4】	下水道処理区域内に点在するマンホールポンプ等を適正に管理した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	20,167	16,455						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.7		特記 事項	予算額のうち8,000千円は翌年度へ繰り越し		
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.7	0.7	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	管理施設数		目標	—	—	37	37	—	
			実績	36	37				
	単年で増	件	達成率	—	—				
成果指標	管理施設に起因する 事故件数		目標	—	—	0	0	—	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	—	—				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	マンホールポンプ等の定期点検、特別点検及び緊急時の初動対応を業務委託し、適切な維持管理を行うことができた。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	マンホールポンプ等の故障が原因で、市民生活へ影響を及ぼすことがないよう、引き続き事業を実施する。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6489
------	-------	-----	--------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	下水道台帳整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
51311							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の管理・更新	根拠法令	下水道法第23条				
取組みの柱	下水道施設の長寿命化						
目的・背景	下水道法に基づき下水道台帳を整備し、効果的かつ効率的な下水道施設の維持管理を行うことを目的としている。						
対象・内容	市民や事業者から、管渠や公共樹などの下水道施設に関する問い合わせがあった際に、下水道台帳を確認し管渠の口径や材質、管底高などの施設の概要を回答する。 公共事業や民間の開発事業で新しく整備された下水道施設の情報を、定期的に下水道台帳システムへ入力する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用	項	営業費用	目	総務費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	下水道台帳入力業務に伴う委託料ほか		18,863
予算 (千円)	事業費計	23,962	24,427	40,318			地理情報システム再構築事業に伴う賃借料		5,029
	国費・県費								
	市債								
	その他	4,873	3,807	3,625					
	一般財源	19,089	20,620	36,693					
決算 (千円)	事業費計	25,699	23,898			主な取組内容 【R4】	下水道台帳を整備する。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	3,379	5,172						
	一般財源	22,320	18,726						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.7		特記事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.6	0.6	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	管きょ入力延長		目標	—	—	42	42	—	
			実績	54.9	50.6				
	単年で増	件	達成率	—	—				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	下水道施設の情報を定期的にシステムへ入力することで、効率的な維持管理に繋がった。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	効率的な下水道施設の維持管理に加え、下水道台帳の閲覧者に対するサービス向上に繋がっているため、引き続き事業を実施する。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	維持・普及担当	連絡先	948-6554
------	-------	-----	--------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	普及啓発事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
51321							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の普及促進	根拠法令	下水道法第10条・第11条、松山市下水道条例第3条、松山市下水道事業経営戦略				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進						
目的・背景	下水道整備の拡大によって影響がある市民等に対し、工事の計画や排水設備の設置等に関する説明会を開催することで、早期接続の理解と協力を求め、水洗化率の向上を図ることを目的とする。 また、供用開始後、法令に定める期間を超えて公共下水道に接続していない建物所有者に対し、戸別の訪問勧奨や郵送勧奨を実施することで、法令順守はもとより、他の下水道利用者との公平性の確保や下水道事業経営の健全化につなげる。						
対象・内容	下水道整備の拡大によって影響がある市民等に対し、説明会の案内文書や法令に定める下水道の供用開始文書を配布する。 また、公益社団法人松山市シルバー人材センターに委託し、法令に定める期間を超えて公共下水道に接続していない建物所有者に対し、戸別の訪問勧奨を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用	項	営業費用	目	業務費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	公共下水道接続推進事業業 務に伴う委託料ほか		2,547
予算 (千円)	事業費計	3,240	4,332	4,181					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,240	4,332	4,181					
決算 (千円)	事業費計	3,010	3,381			主な 取組 内容 【R4】	戸別の訪問勧奨や郵送勧奨を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	3,010	3,381						
人役	正規職員	1.4	1.4	1.0		特記 事項	公共下水道接続推進事業と地元説明会等 普及啓発事業を統合し、普及啓発事業へ名 称変更。		
	その他	0.6	0.6						
	合計	2.0	2.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	未接続家屋への訪問勧奨件数		目標	—	—	2,000	2,000	—	
			実績	2,553	2,517				
	単年で増	件	達成率	—	—				
成果指標	水洗化率		目標	92.5	93.0	93.0	93.0	前年度より水洗化率が向上し、概ね目標を達成することができた。	
			実績	92.5	92.6				
	累計で増	%	達成率	100.0%	99.6%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	説明会の開催や戸別の訪問勧奨等を実施したことで、下水道事業への理解が深まり水洗化率の向上に寄与することができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	下水道事業への理解を深め、水洗化率の向上を図るため、引き続き事業を実施する。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457
------	-------	-----	--------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	宅内樹設置資金貸付事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	6:出資金・貸付金	
51321							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の普及促進	根拠法令	松山市公営企業局宅内ます設置資金貸付規程				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進						
目的・背景	公共下水道の入口となる、宅内樹を自己負担で設置する際に、工事による経済的負担を考え、資金の貸付を行う援助制度(無利息)により、水洗化の促進を図る。 公共下水道と宅内樹の排水管を接続するための公共樹を、公共下水道の本管工事期間中に敷地内に設置しなかった者が、工事完了後に設置を希望する場合は、平成28年4月から原則自己負担となったため、援助制度として開始した。						
対象・内容	貸付対象者:公共下水道処理区域で、公共下水道に切替接続するための宅内樹を、自己負担で設置する者で、市県民税、固定資産税及び受益者負担金を滞納していないこと。宅内樹を設置する土地の所有者で、設置した宅内樹を公共樹として寄付すること。 貸付金額:土地1か所につき60万円以内。 申請方法:貸付金の申請書を市に提出し、改造工事完了後、設置工事完了届を市に提出、その後完了検査を受けて、貸付金を支払う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	長期貸付金	目	宅内樹設置 資金貸付金
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	—		0
予算 (千円)	事業費計	6,000	3,000	1,200					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	6,000	3,000	1,200					
決算 (千円)	事業費計	0	0			主な 取組 内容 【R4】	宅内樹を、自己負担で設置しようとする者 に、設置資金(無利息)の貸付を行う。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	0	0						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項	R4の申請はなかった。		
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	申請件数		目標	10	5	2	2	5件の想定で予算措置をしたが、申請がなかった。	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	0%	0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	その他							
	理由	5件の想定で予算措置をしたが、申請がなかった。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	水洗化の促進を図るため、引き続き事業を実施する。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457
------	-------	-----	--------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	私道管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		○	－	－	－	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の普及促進	根拠法令	私道における公共下水道敷設				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進		水洗便所普及促進要綱4(6)(昭和47.9.28)				
目的・背景	住民の費用負担が大きい、私道への下水道管敷設を市が施工、又は費用の助成をすることにより、水洗便所への切り替えを促進し、公衆衛生の向上と公共用水域の水質の保全に資する。 建設省通達の水洗便所普及促進要領4(6)(昭和47.9.28)で要件を満たす私道は、後日の紛争の予防措置を講じた上で、公共下水道として管渠を整備し、又は私道排水設備設置の助成を行うよう努めるものとされた。						
対象・内容	公共下水道が、整備されている公道に通じる私道を対象に、一定の要件を満たす場合、沿線にお住まいの方等の申請に基づき、公共下水道を整備する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	工事請負費		122,998
予算 (千円)	事業費計	737,992	355,820	478,879			汚水雨水管工事に伴う実施 設計業務委託料ほか		16,329
	国費・県費	28,180	13,425	14,408					
	市債	638,400	257,800	323,300					
	その他	6,603	7,380	6,080					
	一般財源	64,809	77,215	135,091					
決算 (千円)	事業費計	353,435	144,735			主な 取組 内容 【R4】	申請に基づき、予算の範囲内で、公共下水道を整備する。		
	国費・県費	18,180	9,926						
	市債	287,100	115,100						
	その他	5,283	7,199						
	一般財源	42,872	12,510						
人役	正規職員	1.5	1.5	2.2		特記 事項	予算額のうち126,159千円は翌年度へ繰り越し		
	その他								
	合計	1.5	1.5	2.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事件数		目標	12	13	13	13	予定通り工事を実施することができた。	
			実績	12	13				
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
成果指標	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)		目標	65.0	65.6	66.3	69.0	事業を実施することで、目標普及率を達成することができた。	
			実績	65.2	65.8				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定通り工事を実施することができ、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	事業を実施することで、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当G	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457
------	-------	-----	--------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	公共樹設置事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51321							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		○	－	－	－	
施策	下水道等の整備						
主な取組	下水道の普及促進	根拠法令	松山市下水道条例				
取組みの柱	下水道管渠整備の推進						
目的・背景	住民の費用負担が大きい下水道本管への接続を、市が施工、維持管理することにより、水洗便所への切り替えを促進し、公衆衛生の向上と公共用水域の水質の保全に資する。 分流方式で排除できる公共下水道の整備の進捗に伴い、公共樹の設置に取り組んでいる。						
対象・内容	分流方式で排除できる公共下水道が整備されている道路に面し、公共樹が設置されていない宅地を対象に、申請に基づき公共樹を設置する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出	項	下水道建設改良費	目	管渠建設費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	工事請負費	239,365	
予算 (千円)	事業費計	491,586	460,244	457,585				汚水雨水樹工事に伴う施工 管理業務委託料ほか	40,014
	国費・県費	10,000	10,000	10,000					
	市債	439,900	350,900	314,600					
	その他	2,633	1,040	1,040					
	一般財源	39,053	98,304	131,945					
決算 (千円)	事業費計	367,339	281,951			主な 取組 内容 【R4】	申請に基づき、予算の範囲内で公共樹を設 置する。		
	国費・県費	546	257						
	市債	306,200	214,000						
	その他	8,538	43,407						
	一般財源	52,055	24,287						
人役	正規職員	5.4	5.4	5.7		特記 事項	予算額のうち135,585千円は翌年度へ繰 り越し		
	その他	0.4	0.4	1.0					
	合計	5.8	5.8	6.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	工事件数		目標	220	220	220	220	予定通り工事を実施することができた。	
			実績	281	216				
	現状維持	件	達成率	127.7%	98.2%				
成果 指標	下水道処理人口普及率 (市内5処理区)		目標	65.0	65.6	66.3	69.0	事業を実施することで、目標普及率を達成することができた。	
			実績	65.2	65.8				
	累計で増	%	達成率	100.3%	100.3%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	予定通り工事を実施することができ、目標普及率を達成することができたため。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	事業を実施することで、生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られているため。